

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

| | |
|-------------------------------------|---|
| 事業所名 | グループホーム ひまわり |
| 日付 | 平成17年3月3日 特定非営利活動法人 |
| 評価機関名 | 高齢者と痴呆の人のケアを大切に LIFE SUPPORT推進グループ 評価調査員 在宅介護経験10年 評価調査員 在宅介護経験15年 |
| 自主評価結果を見る | |
| 評価項目の内容を見る | |
| 事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!) | |

外部評価の結果

| | |
|--|------------|
| 講評 | |
| 全体を通して(特に良いと思われる点など) | |
| 利用者一人ひとりの気持ちと思いを察知しながら、その人の能力に応じた生活を気まますせている。本人の要望や計画されたケアを自然な形で生活支援していて、ホーム全体に利用者本位の、のんびりとした雰囲気がある。 | |
| 重度で寝たきりの人や、日常のケアをしなくてはならない人が半数位いるので、利用者の生活が二分されており、重度の人には家族の希望があり、現在も医師、看護師と連携のもとターミナルケアをしている。 | |
| 10日に一度は利用者の好きな献立で、買い物から調理まで利用者も加わって、特に楽しい食事をする日がある。家族も毎日訪れる人が多く、遠方からでも月2～3回は必ず訪問している。ホームの様子や利用者個人のこと、トビックスや栄養食事情報が壁新聞に取り上げられて貼ってあり、家族にも送られる。 | |
| 家族や利用者からの“ご提言受付報告書”があり、苦情や提言を書式に上げ、グループホームの主任や本部まで報告し、対応結果を必ず提言者に報告している。このような方法は家族が何でも言える雰囲気をつくっており、コミュニケーションの良さが伺える。利用者、家族、職員でグループホームを良くしていこうとする意欲を見せて貰った。 | |
| 特に改善の余地があると思われる点 | 次のような提案をした |
| 高齢者がグループホームで暮らす幸せは何かと考えると「(A)利用者一人ひとりが好きなように自由に暮らせるということ、(B)今の状態を続けてずっと暮らせること、(C)家族が安心して利用者の暮らしを見守れること」と思う。“特別なことをしなくても良い”に反するのですが、今の残存能力を維持してあげるためには、生活リズムの中から毎日の積み重ねが出来るとメニュー化したものが、必要ではないでしょうか。 | |
| 敬友会で全体として考えることですが、これからの高齢者のケアを進める1つの拠点がグループホームにあると思う。将来の問題として、地域との交流は大切になると考えます。地域のリーダーとして存在を發揮して欲しい。 | |
| 家族との関係は申し分ないと思うが、家族をはじめ地域の人のボランティアがグループホームの力になるような関わり方が欲しい。 | |

I 運営理念

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 1 | 理念の具体化、実現及び共有 | | |
| 記述項目 | グループホームとしてめざしているものは何か 尊厳選択の自由、個性を尊重して、介護の基本の研修がよく行われている。利用者本意の生活を精一杯送らせてあげる姿勢が徹底されている。リビングルームに出て来れる利用者には、一人ひとりが自由きままな生活をさせている。 寝たきりの利用者は家族が求めれば、ターミナルケアまでしてあげ、その人らしい人生を送らせてあげる。 | | |

生活空間づくり

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 2 | 家庭的な共用空間作り | | |
| 3 | 入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり | | |
| 4 | 建物の外回りや空間の活用 | | |
| 5 | 場所間違い等の防止策 | | |
| 記述項目 | 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 入口からリビングと廊下の要所に、モミジとイチョウの花飾りがあり、生け花を教えた利用者の生け花もあり、季節を感じる。 リビングのカウンターには利用者の写真が額に入れて置いてあったり、行事の写真、廊下に壁新聞(みんなの声)が貼ってある。昼、夕食の献立での料理写真(カラー)が飾ってあり、食事を楽しみにしている。 | | |

ケアサービス

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|----|---------------------------|-------|-----|
| 6 | 介護計画への入居者・家族の意見の反映 | | |
| 7 | 個別の記録 | | |
| 8 | 確実な申し送り・情報伝達 | | |
| 9 | チームケアのための会議 | | |
| 10 | 入居者一人ひとりの尊重 | | |
| 11 | 職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ | | |
| 12 | 入居者のペースの尊重 | | |
| 13 | 入居者の自己決定や希望の表出への支援 | | |
| 14 | 一人でできることへの配慮 | | |
| 15 | 入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫 | | |
| 16 | 食事を楽しむことのできる支援 | | |

III ケアサービス(つづき)

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 17 | 排泄パターンに応じた個別の排泄支援 | | |
| 18 | 排泄時の不安や羞恥心等への配慮 | | |
| 19 | 入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援 | | |
| 20 | プライドを大切にされた整容の支援 | | |
| 21 | 安眠の支援 | | |
| 22 | 金銭管理と買い物物の支援 | | |
| 23 | 痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保 | | |
| 24 | 身体機能の維持 | | |
| 25 | トラブルへの対応 | | |
| 26 | 口腔内の清潔保持 | | |
| 27 | 身体状態の変化や異常の早期発見・対応 | | |
| 28 | 服薬の支援 | | |
| 29 | ホームに閉じこもらない生活の支援 | | |
| 30 | 家族の訪問支援 | | |
| 記述項目 | 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 認知症の進んでいる人も多く、又身体的に自立出来ない人も多い。全体的に同じような人がまとまっていないので、利用者同志のコミュニケーションも少なく、一人ひとりの能力や経験を生かして、ホーム全体がまとまった生活をしていくことが難しいホームと思った。一人ひとりの思いを尊重して、ゆったりとした自由な生活をさせているのも、そんな所から来ているのかも知れない。 しかし利用者も大切に思い、一人ひとりのニーズできちんと保っている職員のケアには敬服する。居室が広くトイレもあり、ゆったりとした生活が出来るので、プライバシーの保護も満たされている。職員が居室に入る時、声掛けや承諾を得る等プライバシーの保護に努めている。 | | |

IV 運営体制

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 31 | 責任者の協働と職員の意見の反映 | | |
| 32 | 家族の意見や要望を引き出す働きかけ | | |
| 33 | 家族への日常の様子に関する情報提供 | | |
| 34 | 地域との連携と交流促進 | | |
| 35 | ホーム機能の地域への還元 | | |
| 記述項目 | サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 家族と一緒に利用者が安心して暮らせるグループホームを作っている実感がある。家族の意見を尊重し、利用者の一寸した事故にもきちんと対応して、苦情や失敗を一つ一つ見直し改善していく様子を見ると、グループホームのサービスの向上に、職員一同頑張っていることが良く分かった。 今後は地域にもっと目を向けて、ボランティアや地域の人、家族と一緒にグループホーム運営の力になって貰うよう前進して貰いたい。 | | |